



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,113	7.2	227	14.9	169	81.7	130	105.7
29年3月期第2四半期	2,278	18.9	198	5.2	93	26.2	63	63.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 143百万円 (%) 29年3月期第2四半期 32百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	4.36	4.35
29年3月期第2四半期	2.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,953	4,473	23.6
29年3月期	19,093	4,329	22.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,472百万円 29年3月期 4,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	2.1	420	0.7	290	8.4	240	53.8	8.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	30,000,000 株	29年3月期	30,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	68,598 株	29年3月期	67,698 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	29,931,916 株	29年3月期2Q	29,933,568 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて緩やかな回復基調で推移しました。国内の諸政策により所得・雇用情勢の改善が続くなかで、引き続き海外経済の不確実性などに注意を要する状況が続きました。

事業環境については、全般としては緩やかな改善基調となったものの、季節性の衣料品や寝具などの一部で伸び悩み展開となりました。

こうした中で、当社グループは、引き続き「中期経営計画 Bridge to the Future ～未来への架け橋～」に基づく諸施策に鋭意取り組みました。ただし、季節性の一部市況が軟調に推移した影響も受けており、顧客への提案力を含む営業力の一段の強化に引き続き取り組みました。一方、事業基盤を強化する観点から、本年8月に、東証一部上場のファーストブラザーズ株式会社との資本・業務提携を実現しました。また、商業施設事業においては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、将来的な追加開発に関する予備検討を進展させるとともに、開業20周年イベントを年間通じて実施することとし、キッズ向けの夏休みイベントの強化など季節ごとの企画・広宣活動に一段と注力しました。また、ヘルスケア事業においては、伊藤超短波株式会社との資本業務提携を活かし健康関連分野へのシフトを一段と強化させました。繊維・アパレル事業においては、市況が回復基調にあるユニフォームへの取り組みを強化させました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、商業施設事業における前年同期の臨時的な収入がなくなったことや健康関連および衣料品関連の一部OEM販売先の伸び悩みを主因に、売上高は21億13百万円(前年同期比7.2%減)と減収になりましたものの、営業利益は2億27百万円(前年同期比14.9%増)と増益になり、さらに前年同期に発生した一過性の営業外費用がなくなったことから経常利益は1億69百万円(前年同期比81.7%増)と増益になりました。これに、前年同期に計上した特別利益・特別損失がともになくなったことや法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億30百万円(前年同期比105.7%増)と前年同期比ほぼ倍増となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」における20周年企画や夏休みイベントの実施などにより計画を上回るペースで推移しているものの、前期に計上した臨時的な収入がなくなったことが響き、売上高は前年同期を下回りました。これに、20周年企画における一部リニューアル工事費用の臨時支出があり、営業利益も前年同期を下回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は11億72百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は4億66百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、当社独自のバイオ麻製品などにおいて一部OEM先の販売が伸び悩んだことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、春先の掛布団に関する提案営業の成果はあったものの、夏場の需要減退が響き、売上高は前年同期を下回りました。さらに、原材料費の高止まりもあり、営業損益は前年同期を下回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は3億49百万円(前年同期比12.4%減)、営業損失は25百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、市況が軟調な布帛関連の一部OEM取引先での販売が伸び悩んだことを主因に、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、9月期の官需ユニフォーム生地納品の納品が伸びたことから売上高は前年同期を上回りました。営業損益は、粗利率の改善効果により前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は5億92百万円(前年同期比12.4%減)、営業損失は2百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産等の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は189億53百万円(前期末は190億93百万円)となり、前期末に比べ1億40百万円減少(前期末比0.7%減)しました。主な要因は、建物及び構築物の減少1億29百万円であります。

負債の残高は144億79百万円(前期末は147億64百万円)となり、前期末に比べ2億84百万円減少(前期末比1.9%減)しました。主な要因は、預り保証金(流動負債のその他)の減少40百万円、長期借入金の減少1億69百万円、長期預り保証金の減少39百万円であります。

純資産の残高は44億73百万円(前期末は43億29百万円)となり、前期末に比べ1億44百万円増加(前期末比3.3%増)しました。主な要因は、利益剰余金の増加1億30百万円、その他有価証券評価差額金の増加14百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億77百万円のプラス(前年同期比205.5%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億69百万円、減価償却費1億96百万円、預り保証金の減少79百万円、利息の支払額57百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9百万円のプラス(前年同期比97.4%減)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出48百万円、出資金の売却による収入57百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億83百万円のマイナス(前年同期は2億94百万円のプラス)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億69百万円、リース債務の返済による支出13百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は16億71百万円(前年同期比19.6%増)となり、前期末に比べ3百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678,627	1,681,880
受取手形及び売掛金	480,554	485,718
たな卸資産	461,982	494,579
繰延税金資産	60,785	65,678
その他	341,293	213,269
貸倒引当金	△1,110	△630
流動資産合計	3,022,133	2,940,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,166,885	6,037,438
土地	9,339,792	9,339,792
その他（純額）	194,564	189,384
有形固定資産合計	15,701,243	15,566,615
無形固定資産	9,417	7,632
投資その他の資産		
投資有価証券	280,920	297,206
破産更生債権等	90,173	89,198
その他	76,531	138,224
貸倒引当金	△86,632	△85,809
投資その他の資産合計	360,992	438,819
固定資産合計	16,071,652	16,013,067
資産合計	19,093,785	18,953,564

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,203	456,230
短期借入金	338,400	338,400
未払法人税等	29,762	42,826
賞与引当金	32,481	36,955
株主優待引当金	16,338	—
その他	722,073	581,645
流動負債合計	1,523,259	1,456,057
固定負債		
長期借入金	8,807,800	8,638,600
長期預り保証金	1,755,888	1,716,600
繰延税金負債	279	6,338
再評価に係る繰延税金負債	2,211,637	2,211,637
退職給付に係る負債	260,227	257,663
資産除去債務	52,923	53,299
その他	152,183	139,375
固定負債合計	13,240,938	13,023,514
負債合計	14,764,197	14,479,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△2,658,134	△2,527,780
自己株式	△7,138	△7,206
株主資本合計	△661,897	△531,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,352	5,718
繰延ヘッジ損益	445	113
土地再評価差額金	4,993,002	4,993,002
為替換算調整勘定	5,767	4,959
その他の包括利益累計額合計	4,990,863	5,003,794
新株予約権	622	1,809
純資産合計	4,329,588	4,473,992
負債純資産合計	19,093,785	18,953,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,278,141	2,113,985
売上原価	1,621,289	1,494,507
売上総利益	656,852	619,478
販売費及び一般管理費	458,840	391,988
営業利益	198,011	227,489
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	2,963	2,962
持分法による投資利益	1,047	—
還付消費税等	48,324	—
その他	1,691	828
営業外収益合計	54,054	3,813
営業外費用		
支払利息	65,484	57,889
その他	93,452	4,199
営業外費用合計	158,936	62,089
経常利益	93,129	169,214
特別利益		
出資金売却益	109,743	—
特別利益合計	109,743	—
特別損失		
繰上返済精算金	107,257	—
特別損失合計	107,257	—
税金等調整前四半期純利益	95,615	169,214
法人税、住民税及び事業税	30,040	40,068
法人税等調整額	2,206	△1,208
法人税等合計	32,246	38,859
四半期純利益	63,368	130,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,368	130,354

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	63,368	130,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,119	14,070
繰延ヘッジ損益	406	△331
為替換算調整勘定	△5,749	△808
持分法適用会社に対する持分相当額	△89,708	—
その他の包括利益合計	△96,171	12,931
四半期包括利益	△32,803	143,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,803	143,285
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	95,615	169,214
減価償却費	204,768	196,781
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,802	△1,302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,189	4,473
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	24,899	△16,338
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,858	△2,564
受取利息及び受取配当金	△2,990	△2,985
出資金売却損益 (△は益)	△109,743	—
支払利息	65,484	57,889
繰上返済精算金	107,257	—
持分法による投資損益 (△は益)	△1,047	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,584	11,028
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△81,724	△32,673
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	8,210	975
仕入債務の増減額 (△は減少)	20,230	72,853
預り保証金の増減額 (△は減少)	△104,802	△79,308
その他	33,378	△120,913
小計	246,197	257,129
利息及び配当金の受取額	2,990	2,985
利息の支払額	△69,785	△57,613
繰上返済精算金の支払額	△107,257	—
法人税等の支払額	△13,910	△24,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,233	177,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,606	△48,059
有価証券の取得による支出	△200,000	—
有価証券の償還による収入	200,000	—
定期預金の払戻による収入	80,000	—
出資金の売却による収入	262,781	57,022
敷金の差入による支出	△17,823	—
敷金の回収による収入	53,909	—
その他	—	371
投資活動によるキャッシュ・フロー	359,260	9,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△540,000	—
長期借入れによる収入	9,400,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,208,290	△169,200
建設協力金の返済による支出	△400,738	—
社債の償還による支出	△865,500	—
リース債務の返済による支出	△13,179	△13,179
自己株式の増減額 (△は増加)	△91	△67
その他	△78,166	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	294,034	△183,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,296	△551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	710,232	3,252
現金及び現金同等物の期首残高	687,297	1,668,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,397,529	1,671,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,202,646	399,094	676,401	2,278,141	—	2,278,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,202,874	399,094	676,401	2,278,369	△228	2,278,141
セグメント利益又は損失(△)	516,793	△20,519	△5,802	490,471	△292,460	198,011

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額292,460千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,172,290	349,479	592,215	2,113,985	—	2,113,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	108	336	△336	—
計	1,172,518	349,479	592,323	2,114,321	△336	2,113,985
セグメント利益又は損失(△)	466,574	△25,564	△2,245	438,764	△211,274	227,489

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額211,274千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。